

2025 年春 スギ・ヒノキ花粉飛散状況のまとめ

2025 年春に都が行ったスギ・ヒノキ花粉の飛散数の測定、飛散予測及び花粉症患者動向調査等の結果についてとりまとめた。

1 2025 年春のスギ・ヒノキ花粉の飛散数測定（表 1、図 1、図 2－1～4）

- （1）今春のスギ・ヒノキ花粉の飛散数の平均（都全体）は 4,810 個/cm²であった。昨春の 7 割であり、過去 10 年（2015 年～2024 年）の平均の 8 割であった。
- （2）スギ花粉の飛散数の平均（都全体）は、4,151 個/cm²であり、昨春の 7 割、過去 10 年の平均並みであった。
- （3）ヒノキ花粉の飛散数の平均（都全体）は、659 個/cm²であり、昨春の 5 割、過去 10 年の平均の 4 割であった。

2 スギ・ヒノキ花粉飛散数予測の検証（表 2、図 1、図 3）**（1）予測と実際の飛散数の比較**

都が予測した花粉飛散数（都内平均）は、5,800～7,900 個/cm²であった。しかし、実際に観測された飛散数は 4,810 個/cm²であり、予測の最小値である 5,800 個/cm²を下回る結果となった。

地域別に見ると、区部の観測点では実測値が予測最小値とほぼ一致したが、多摩部の観測点では予測最小値を下回る傾向が見られた。

（2）予測の検証

多摩部で予測を下回ったのは、関東周辺に比較して多摩地域のスギ雄花推定数が前年と比較して少なかったことが考えられる。また、花粉飛散時期の多摩西部、埼玉県秩父の 3 月の雨量がかなり多くなっており、もともと雄花数が少なかったうえに雨の日が多く、周辺に輸送される花粉数が減少したためと考えられる。

一方、区部の花粉飛散数に影響する地点の 3 月の雨量は平年よりは多かったが、多摩地域に比較すると少なかった。また、神奈川県のスギ林に近い海老名の雨量も平年比より多かった。そのため神奈川県からの花粉の飛散もやや減少した。このことから、区部は予測の最小値となり、多摩部に比較すると降雨の影響は少なかったと推定される。

3 スギ花粉の飛散開始日の検証（表 3）

スギ花粉の飛散開始日は、北を除く 11 地点で 2 月 13 日から 16 日であった（北は 2 月 24 日）。

昨春の飛散開始日と比較すると、北は 11 日遅かった。青梅、多摩、立川では昨春より

4～5日遅かった。残りの8地点では昨春より1～3日遅く、ほぼ昨春並みであった。

また、過去10年の平均と比較すると、北では9日遅かったが、残りの11地点では±3日の範囲内であり、ほぼ過去10年の平均並みの時期であった。

4 飛散花粉数が「多い」以上の日数と予測の検証（表4－1～2、図4）

（1）飛散花粉数が「多い」以上の日数

飛散花粉数が「多い」以上の日数は、都全体の平均で28日となった。これは、昨春の39日と比較して11日少なく、また、過去10年間の平均（35日）と比較しても7日少なかった。

地域別の結果は以下のとおりである。

- ・ 区部：33日（前年より6日少なく、過去10年平均より4日少ない）
- ・ 多摩部：25日（前年より15日少なく、過去10年平均より8日少ない）

（2）予測との比較検証

令和6年度東京都花粉症対策検討委員会（第2回）においては、飛散花粉数が「多い」以上の日数を都全体の平均で42日と予測していた。しかし、実際には28日となり、予測を14日下回った。

地域別の予測と実際の比較は以下のとおりである。

- ・ 区部：予測 37日 → 結果 33日（4日少ない）
- ・ 多摩部：予測 46日 → 結果 25日（21日少ない）

区部では予測と実測の差が少ないが、多摩部では飛散する花粉数が予測よりもかなり少なくなったため、花粉数が「多い」日数も少なくなったと考えられる。

5 花粉症患者動向調査

世田谷区内クリニックにおける初診患者数のピークの時期は、3月3日～3月9日（2025年第10週）であり、前年（2月26日～3月9日（2024年第9週））と1週遅かった。

自覚症状と花粉飛散数は例年どおり、有意に相関した。また、症状スコアが10点を超えた週は全7週（第9週～15週）と昨年より1週間長くなり、花粉飛散数の増加に伴って症状を強く訴える患者が多かった。

スギ舌下免疫療法施行群は飛散ピーク時に受診した初診患者群と比較して有意に自覚症状が抑制されており、舌下免疫療法の有用性が改めて示された。

表1 2025年 スギ・ヒノキ飛散花粉数^{※1}(単位:個/cm²/シーズン)①スギ・ヒノキ合計^{※2}

測定点 区市名	飛散花粉数			過去との比率		最大飛散数
	2025年	2024年	過去10年 平均	2024年 との比率	過去10年 平均との比率	2025年までの最大値と それを記録した年
千代田	5,051	5,723	5,329	0.9	0.9	11,465 (2018年)
葛飾	5,046	5,238	5,345	1.0	0.9	11,959 (2018年)
杉並	5,406	7,476	6,622	0.7	0.8	14,614 (2018年)
北	4,742	5,228	5,420	0.9	0.9	11,707 (2018年)
大田	4,866	5,269	5,397	0.9	0.9	12,481 (2005年)
青梅	7,790	15,764	11,294	0.5	0.7	37,899 (2000年)
八王子	5,019	6,951	6,876	0.7	0.7	24,958 (2005年)
多摩	5,005	7,767	5,631	0.6	0.9	21,565 (2011年)
町田	3,109	4,352	3,863	0.7	0.8	18,914 (2005年)
立川	5,913	10,115	5,579	0.6	1.1	19,969 (2011年)
府中	3,465	6,472	3,934	0.5	0.9	15,914 (2011年)
小平	2,312	3,692	2,787	0.6	0.8	12,345 (2005年)
都平均	4,810	7,004	5,673	0.7	0.8	

②スギ

測定点 区市名	飛散花粉数			過去との比率		最大飛散数
	2025年	2024年	過去10年 平均	2024年 との比率	過去10年 平均との比率	2025年までの最大値と それを記録した年
千代田	4,121	4,370	3,701	0.9	1.1	8,302 (2005年)
葛飾	4,145	4,157	3,762	1.0	1.1	6,399 (2011年)
杉並	4,382	5,262	4,524	0.8	1.0	9,751 (2005年)
北	4,022	3,546	3,738	1.1	1.1	8,390 (2005年)
大田	4,196	3,819	3,743	1.1	1.1	9,740 (2005年)
青梅	6,607	12,907	8,188	0.5	0.8	30,361 (2000年)
八王子	4,507	5,663	4,946	0.8	0.9	18,298 (2011年)
多摩	4,422	5,639	4,173	0.8	1.1	17,253 (2011年)
町田	2,670	3,438	2,856	0.8	0.9	15,434 (2005年)
立川	5,508	8,966	4,423	0.6	1.2	17,994 (2011年)
府中	3,102	5,687	3,052	0.5	1.0	13,295 (2011年)
小平	2,134	3,135	1,993	0.7	1.1	9,547 (2005年)
都平均	4,151	5,549	4,092	0.7	1.0	

③ヒノキ

測定点 区市名	飛散花粉数			過去との比率		最大飛散数
	2025年	2024年	過去10年 平均	2024年 との比率	過去10年 平均との比率	2025年までの最大値と それを記録した年
千代田	930	1,353	1,627	0.7	0.6	6,446 (2018年)
葛飾	901	1,082	1,582	0.8	0.6	6,577 (2018年)
杉並	1,024	2,214	2,098	0.5	0.5	7,746 (2018年)
北	719	1,682	1,682	0.4	0.4	5,706 (2018年)
大田	670	1,451	1,654	0.5	0.4	6,255 (2018年)
青梅	1,183	2,857	3,107	0.4	0.4	17,295 (2005年)
八王子	511	1,288	1,930	0.4	0.3	11,573 (2018年)
多摩	583	2,128	1,458	0.3	0.4	6,527 (2018年)
町田	439	914	1,007	0.5	0.4	4,786 (2018年)
立川	406	1,149	1,155	0.4	0.4	6,468 (2005年)
府中	363	785	882	0.5	0.4	3,765 (2005年)
小平	178	557	794	0.3	0.2	3,040 (2018年)
都平均	659	1,455	1,581	0.5	0.4	

※1 飛散終了日までの合計値

※2 小数点以下の端数処理の関係で、①の花粉数が②と③の花粉数の合計と一致しない場合がある。

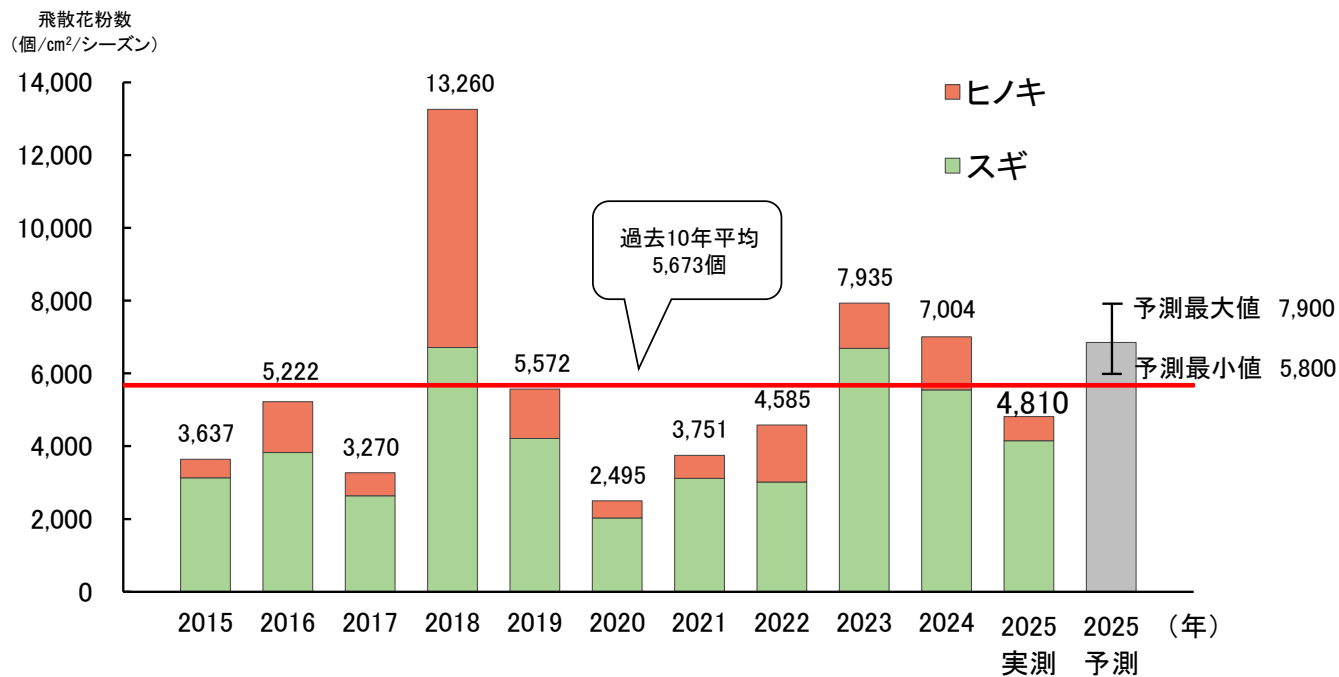


図1 花粉数の経年変化と2025年予測値との比較(都全体)

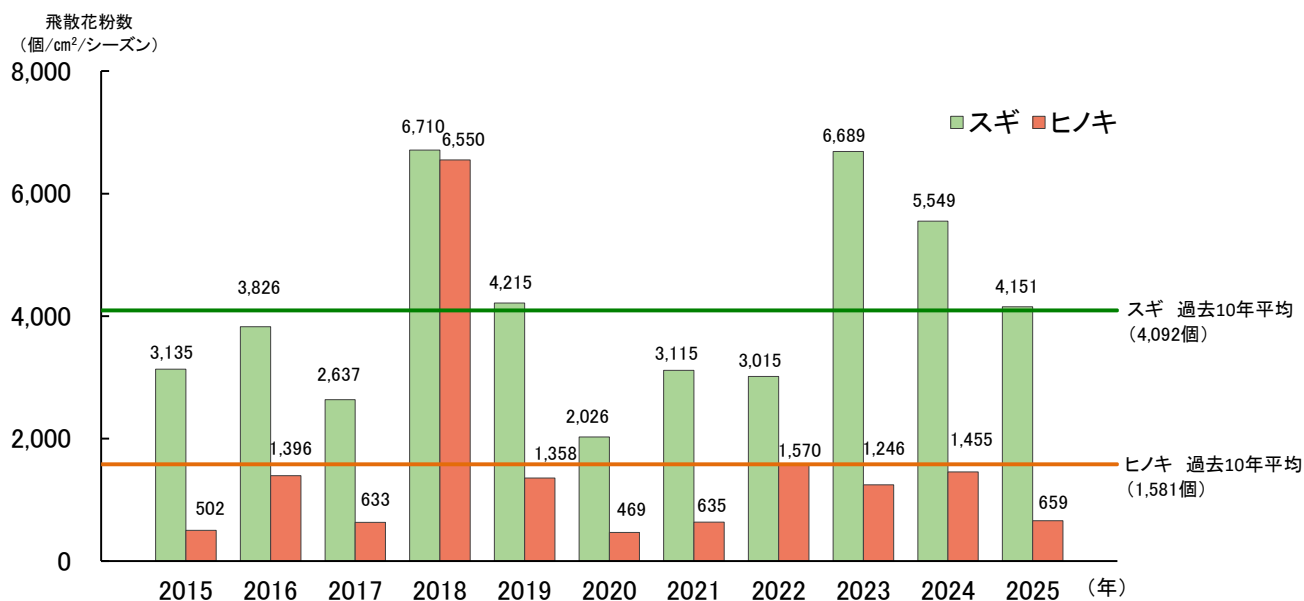


図2-1 飛散花粉数の経年変化(スギ・ヒノキ別)(都全体)

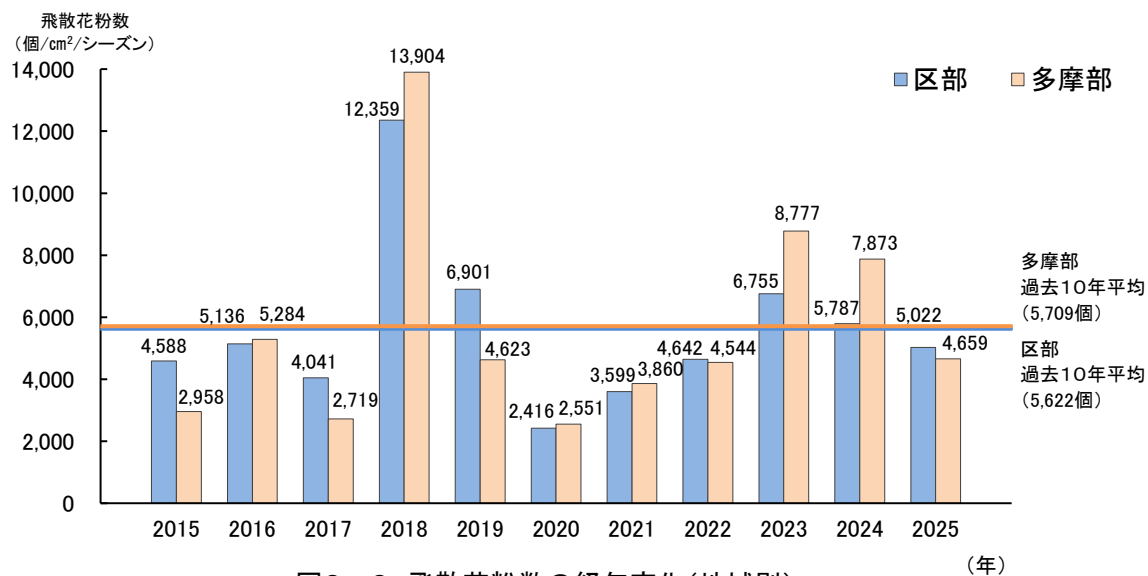


図2-2 飛散花粉数の経年変化(地域別)

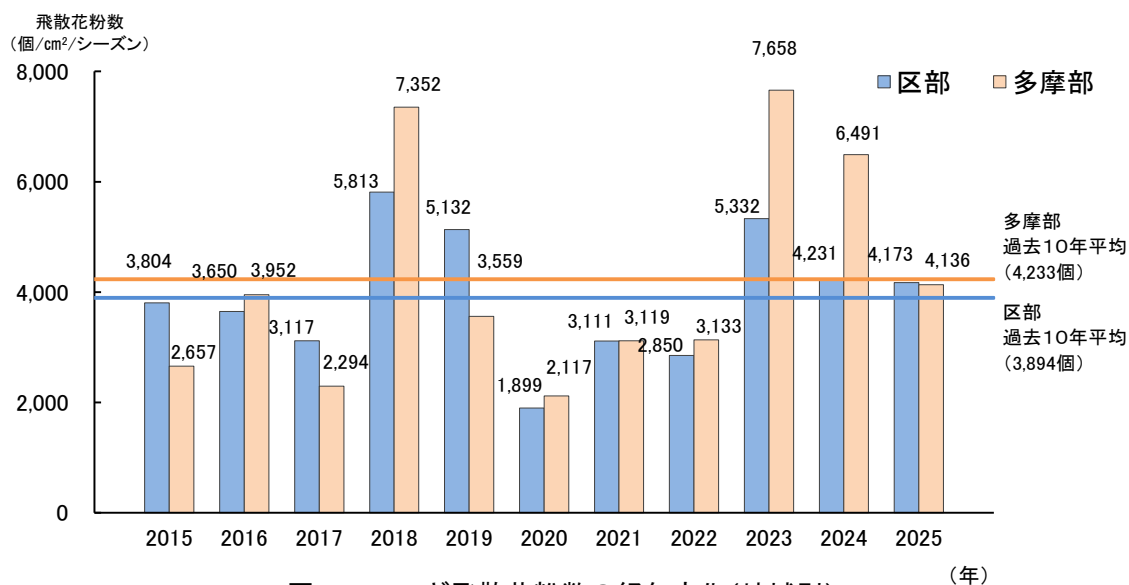


図2-3 スギ飛散花粉数の経年変化(地域別)

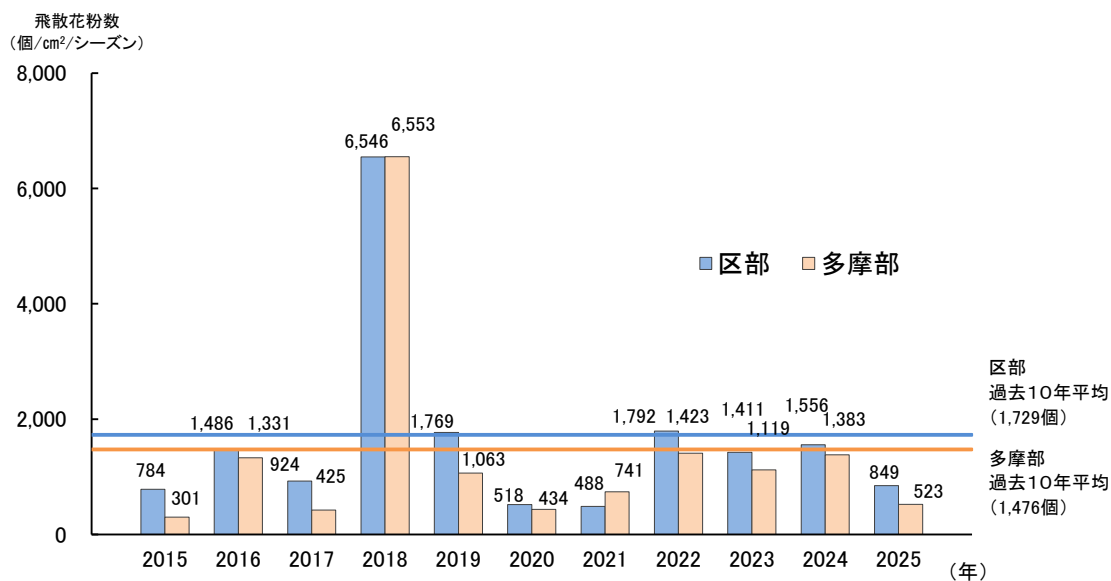


図2-4 ヒノキ飛散花粉数の経年変化(地域別)

表2 2025年春 飛散花粉数と予測値との比較 (単位:個/cm²/シーズン)

飛散花粉数	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均
2025春 実測	5,051	5,046	5,406	4,742	4,866	5,022
予測最大値	6,600	6,500	8,200	6,500	6,500	6,800
予測最小値	4,900	4,800	6,100	4,800	4,800	5,000

飛散花粉数	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
2025春 実測	7,790	5,019	5,005	3,109	5,913	3,465	2,312	4,659	4,810
予測最大値	17,100	10,000	8,700	5,900	9,500	5,900	4,100	8,700	7,900
予測最小値	12,600	7,400	6,400	4,300	7,000	4,300	3,000	6,400	5,800

飛散花粉数
(個/cm²/シーズン)

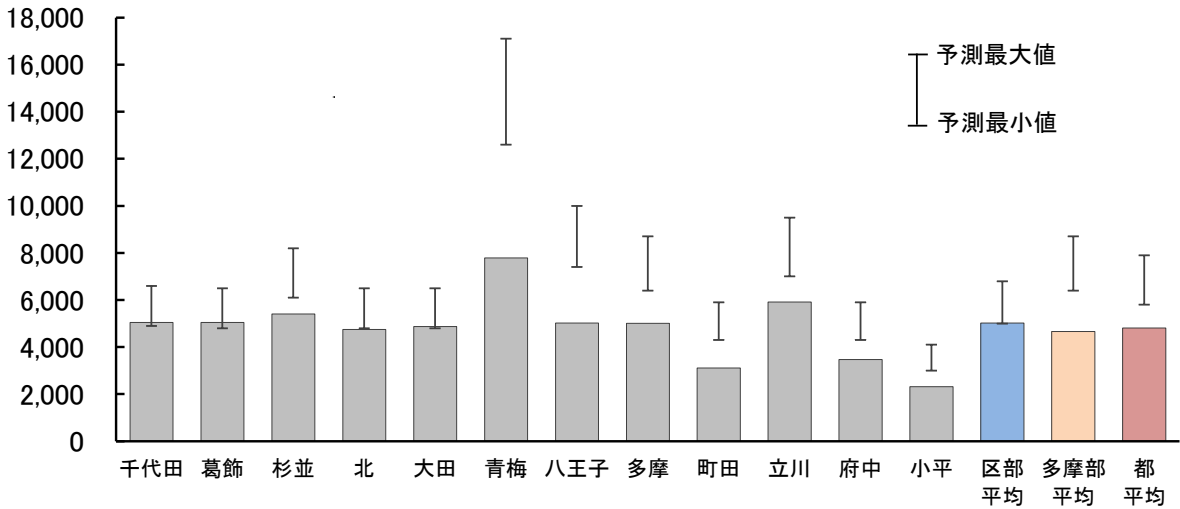


図3 2025年春 飛散花粉数と予測値との比較(各地点)

表3 2025年、2024年及び過去10年平均のスギ花粉飛散開始日

	2月															
	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
千代田					○		●									
葛飾					○		●	●								
杉並					○		●									
北					○		●									●
大田					●	○	●									
青梅	○				●											
八王子					○	●	●									
多摩	○					●	●									
町田					○	●	●									
立川	○					●	●									
府中					○	●	●									
小平					○	●	●									

● 2025年の飛散開始日

○ 2024年の飛散開始日

過去10年の平均飛散開始日(2015年から2024年)

表4-1 飛散花粉数が「多い」以上の日数

	2025年	2025年予測	2024年	過去10年平均
区部(日)	33	37	39	37
多摩部(日)	25	46	40	33
都平均(日)	28	42	39	35

表4-2 ランク別飛散数日数 ※1 「多い」以上の日数は、「非常に多い」以上及び「極めて多い」の日数を含む。
※2 「非常に多い」以上の日数は、「極めて多い」の日数を含む。

2025年	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
【参考】飛散花粉数 (個/cm ² /シーズン)	5,051	5,046	5,406	4,742	4,866	5,022	7,790	5,019	5,005	3,109	5,913	3,465	2,312	4,659	4,810
「多い」以上 となった日数(日)※1	31	33	33	35	31	33	34	29	31	18	26	24	15	25	28
「非常に多い」以上 となった日数(日)※2	23	29	29	30	29	28	29	23	19	15	22	14	10	19	23
「極めて多い」 となった日数(日)	18	23	21	17	22	20	22	13	13	12	16	11	6	13	16

2024年	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
【参考】飛散花粉数 (個/cm ² /シーズン)	5,723	5,238	7,476	5,228	5,269	5,787	15,764	6,951	7,767	4,352	10,115	6,472	3,692	7,873	7,004
「多い」以上 となった日数(日)	40	37	41	38	37	39	54	39	42	35	39	40	29	40	39
「非常に多い」以上 となった日数(日)	33	31	38	32	34	34	43	31	34	29	38	35	26	34	34
「極めて多い」 となった日数(日)	24	24	28	17	20	23	35	23	22	11	29	16	15	22	22

過去10年平均	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
【参考】飛散花粉数 (個/cm ² /シーズン)	5,329	5,345	6,622	5,420	5,397	5,622	11,294	6,876	5,631	3,863	5,579	3,934	2,787	5,709	5,673
「多い」以上 となった日数(日)	37	37	40	36	36	37	42	38	35	30	33	29	24	33	35
「非常に多い」以上 となった日数(日)	30	31	35	31	30	31	35	29	26	22	24	21	18	25	28
「極めて多い」 となった日数(日)	19	20	24	21	20	21	26	18	15	11	15	11	7	15	17

比較	2024年 との比率	過去10年平均 との比率
【参考】飛散花粉数 (個/cm ² /シーズン)	0.7	0.8
「多い」以上 となった日数(日)	0.7	0.8
「非常に多い」以上 となった日数(日)	0.7	0.8
「極めて多い」 となった日数(日)	0.7	0.9

<飛散花粉数のランク>
1日に観測された花粉数（単位：個/cm²/日）

- 0～10未満 少ない
- 10～30未満 やや多い
- 30～50未満 多い
- 50～100未満 非常に多い
- 100以上 極めて多い

（日本花粉学会「花粉情報等標準化委員会」において設定された基準による）

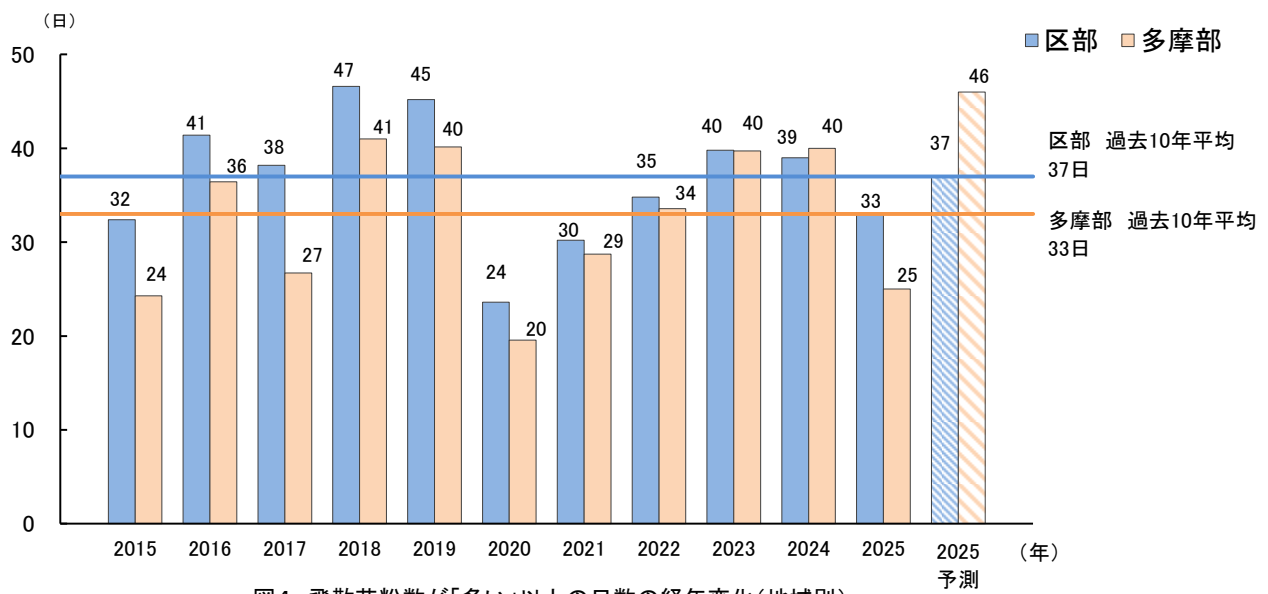


図4 飛散花粉数が「多い」以上の日数の経年変化(地域別)